

令和4年度実施施策に係る政策評価書

(環境省R4-40)

施策名	目標8-6 環境問題に関する調査・研究・技術開発					
施策の概要	環境の状況の把握、問題の発見、環境負荷の把握・予測、環境変化の機構や環境影響の解明・予測、環境と経済の相互関係に関する分析、対策技術の開発など各種の調査研究・研究開発を実施するとともに、研究開発のための基盤の整備、成果の普及により環境分野の研究・技術開発を推進し、環境問題の解決や持続可能な社会の構築の基礎とする。					
達成すべき目標	環境技術の研究開発を進め、環境と経済の統合された社会の実現に寄与する。					
施策の予算額・執行額等	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	26,030	29,990	25,864	24,827
		補正予算(b)	-	-	-	-
		繰越し等(c)	-	-	(※記入は任意)	-
		合計(a+b+c)	26,030	29,990	(※記入は任意)	-
執行額(百万円)	24,746	28,770	(※記入は任意)	-		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 第5次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)					

測定指標	1. 環境研究総合推進費の事後評価(5段階)で上位2段階を獲得した課題数(上位2段階の課題数/全評価対象課題数)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	各年度	○
		-	41/50 (82.0%)	46/53 (86.8%)	50/55 (90.9%)	47/48 (97.9%)	79/81 (97.5%)	70%以上	
	年度ごとの目標値	/	60%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	/	
	2. 環境保全研究費補助金(イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業)の採択事業者による本事業終了後1年後における支援技術の事業化に向けた研究開発の継続割合(単位:%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	各年度	○
-		-	-	-	-	6/6 (100%)	80%以上		
年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	80%以上	/		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進捗あり (判断根拠) ・環境研究総合推進費事業において目標値を達成した。 ・イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業において目標値を達成した。 なお、令和3年度事前分析表まで測定指標としていた環境技術実証事業は、令和2年度で廃止され、実証件数の縮小、運営の効率化等を行い予算規模を縮小した上で本事業に統合されたため、令和4年度事前分析表から測定指標を変更した。
	施策の分析	/
	次期目標等への反映の方向性	/

学識経験を有する者の知見の活用	環境研究総合推進事業においては、外部有識者で構成される委員会等において事前・中間・事後評価を実施しており、外部有識者の意見や技術的助言等に基づいて事業を実施している。イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業においても同様に、外部有識者による事前・事後評価を実施しており、学識経験を有する者の知見の積極的な活用に努めている。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	・環境研究総合推進費:事後評価の結果(独立行政法人環境再生保全機構HP) https://www.erca.go.jp/suishinhi/seika/seika_1.html ・環境保全研究費補助金(イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業):これまでの採択結果(一般社団法人静岡県環境資源協会) http://www.siz-kankyoku.jp/hojo.html
---------------------------	--

担当部局名	大臣官房 総合政策課 環境研究技術室	作成責任者名	奥村暢夫(環境研究技術室長)	政策評価実施時期	令和5年8月
-------	--------------------------	--------	----------------	----------	--------